

建設現場におけるじん肺等のリスク、 今後働きたい職場に関するアンケート結果

ニュースリリース補足資料

2026/09/10

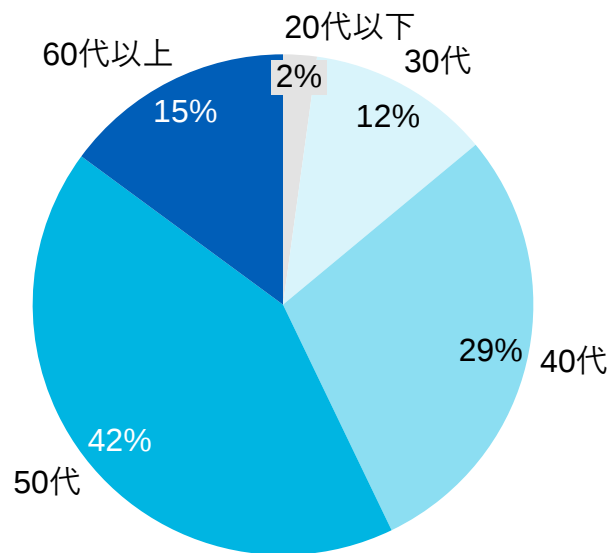
古河電気工業株式会社

調査対象：全国のケレン作業従事者 回答者数：322名

40代以上かつ経験年数11年以上の回答者が多数を占め、定常的にケレン作業を行う実務者層から回答を得た。

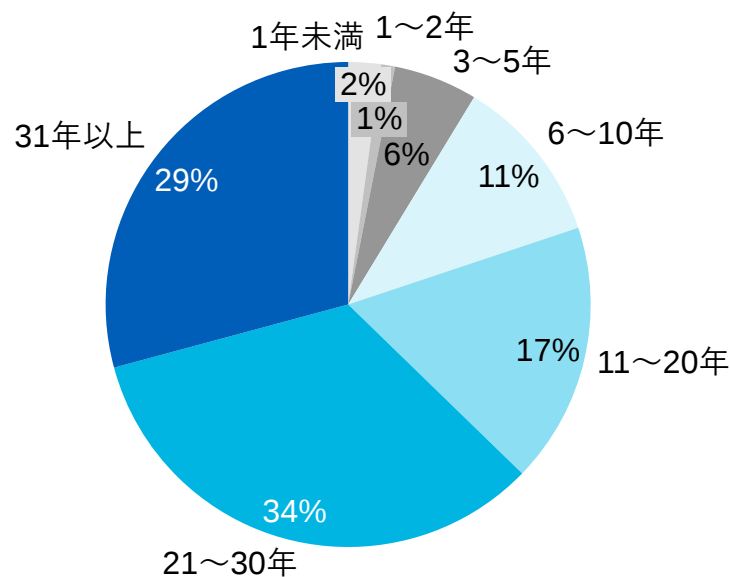
現在の年齢を選んでください。 (SA)

(n=322)



塗装はがしや錆取り（ケレン作業）を始めてからの経験年数を選んでください。 (SA)

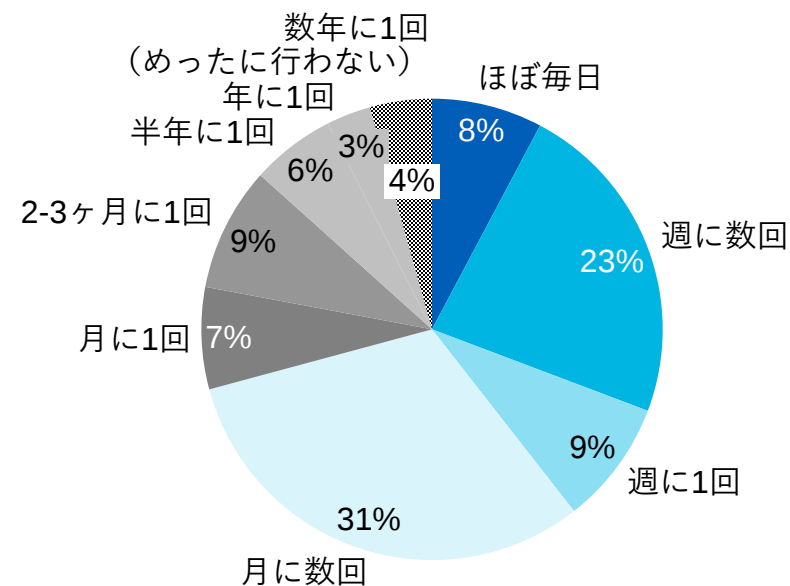
(n=322)



塗装はがしや錆取り（ケレン作業）を行う頻度としてもっとも近いものを選んでください。

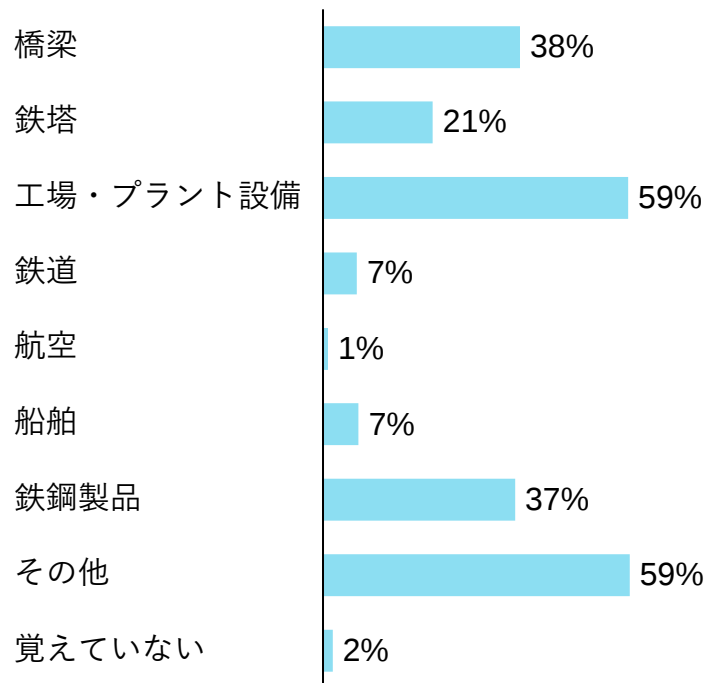
(SA)

(n=322)

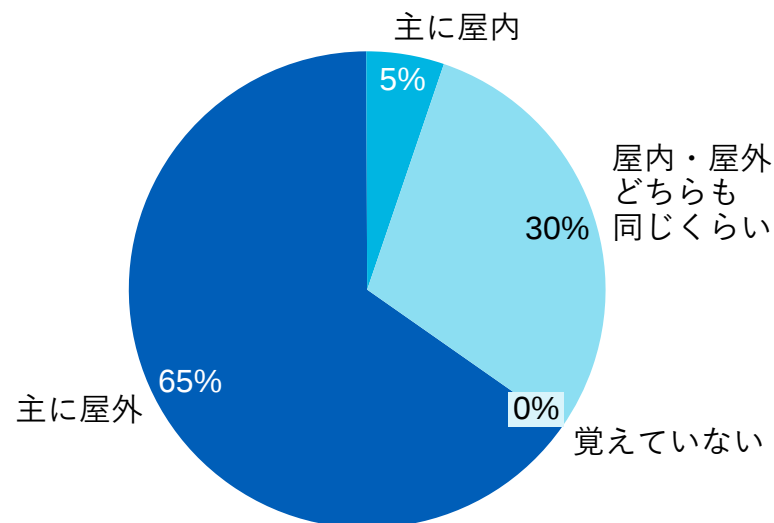


6割以上が屋外の作業現場にて行われている。作業時に使用される工法については、動力工具や手工具等の粉じんが飛散しやすい物理的工法と塗膜剥離剤を用いた化学的工法が、依然として大部分の現場で利用されている。

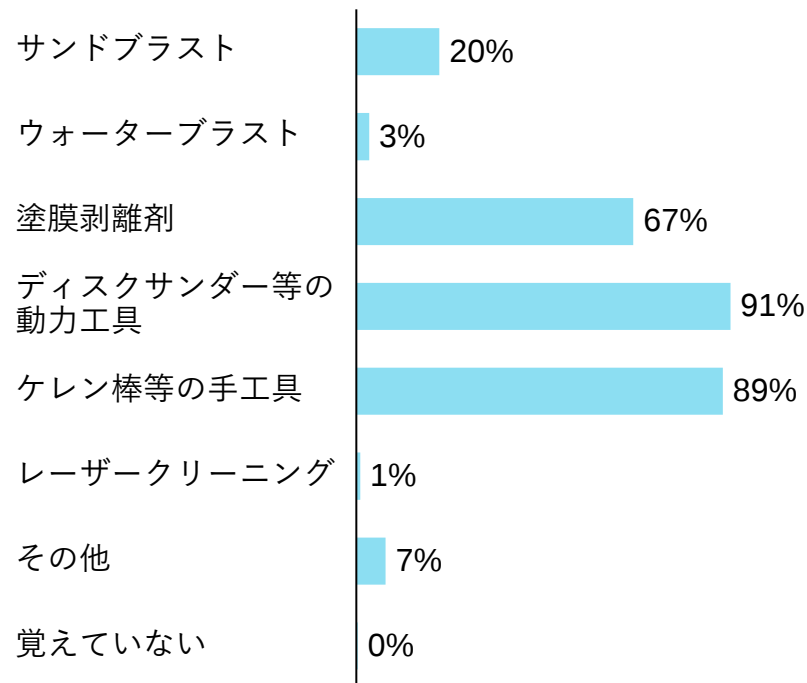
どんな現場の塗装はがしや錆取り（ケレン作業）を行いましたか？（SA）
(n=322)



作業の現場は、主に屋内でしたか、それとも屋外でしたか？（SA）
(n=322)



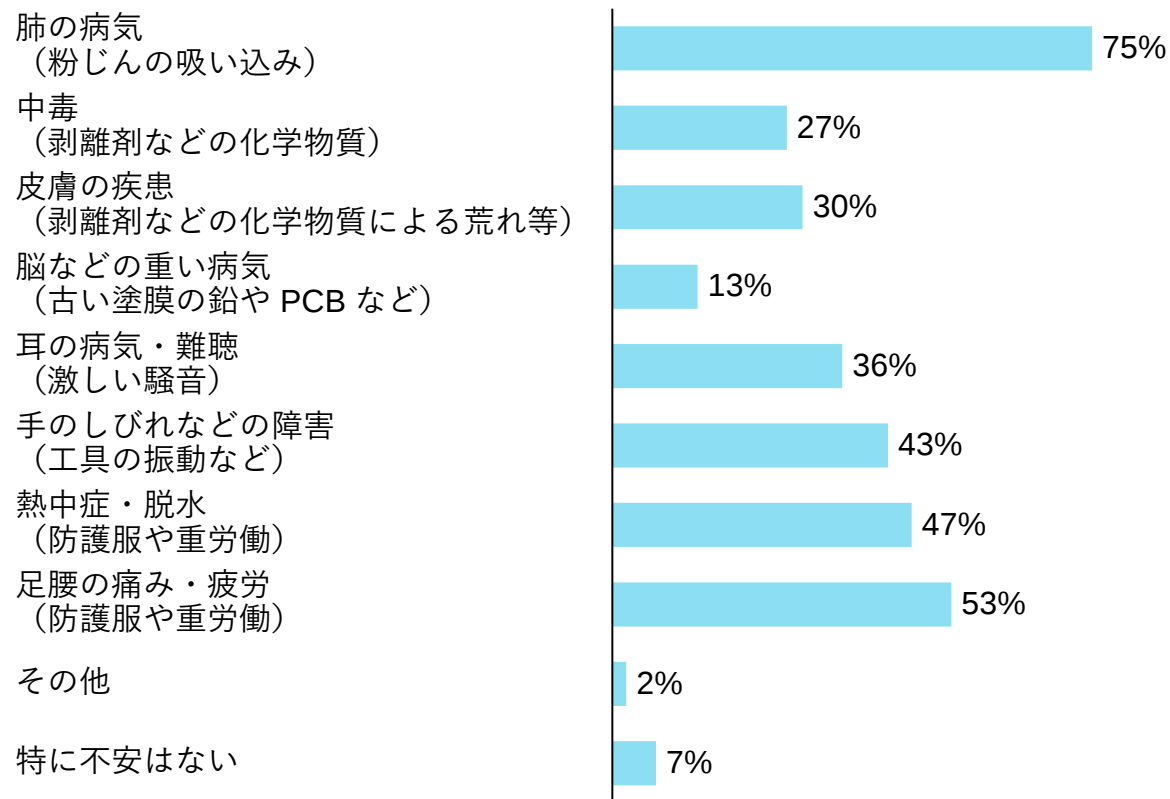
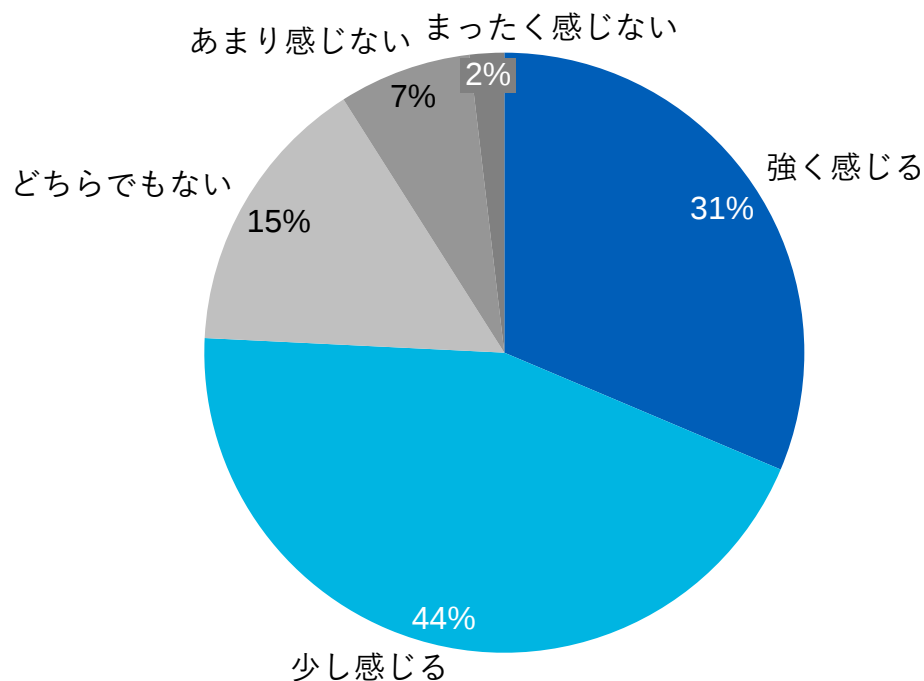
塗装はがしや錆取り（ケレン作業）で、どんな機器や工法を使いましたか？（MA）
(n=322)



回答者の7割以上が自身の健康に不安を感じており、具体的には足腰の痛み（53%）、熱中症・脱水（47%）等の屋外作業で発生するものに加え、じん肺（75%）、中毒（27%）、皮膚の疾患（30%）等のケレン現場特有の健康不安を危惧している。

塗装はがしや錆取りの仕事を長く続けることで、自身の健康に不安を感じることはありますか？（SA）
(n=322)

具体的にどんな健康被害が不安ですか？（MA）
(n=322)

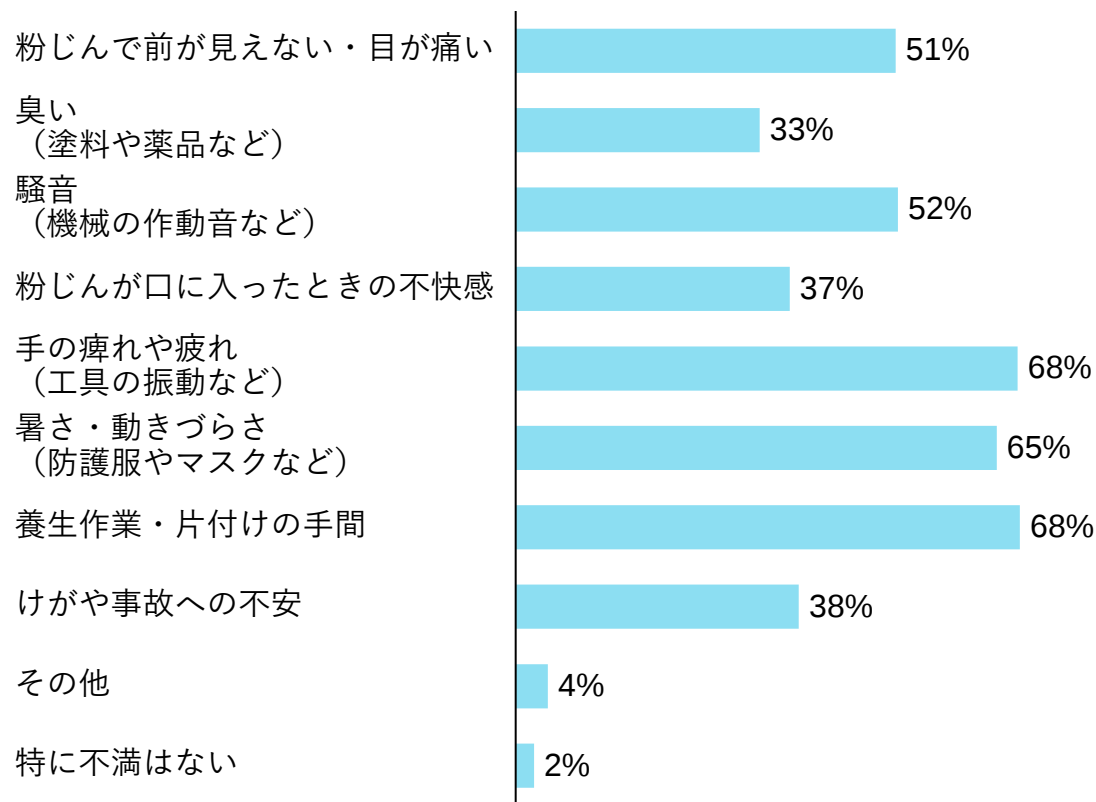


作業に対する不満と転職意向

現場作業特有の身体的負担に加え、粉じんなどケレン作業特有の不満も多く挙げられている。
これらの過酷な作業環境に起因する不満や健康不安から転職した/考えたことがあると回答した人は3割以上を占める。

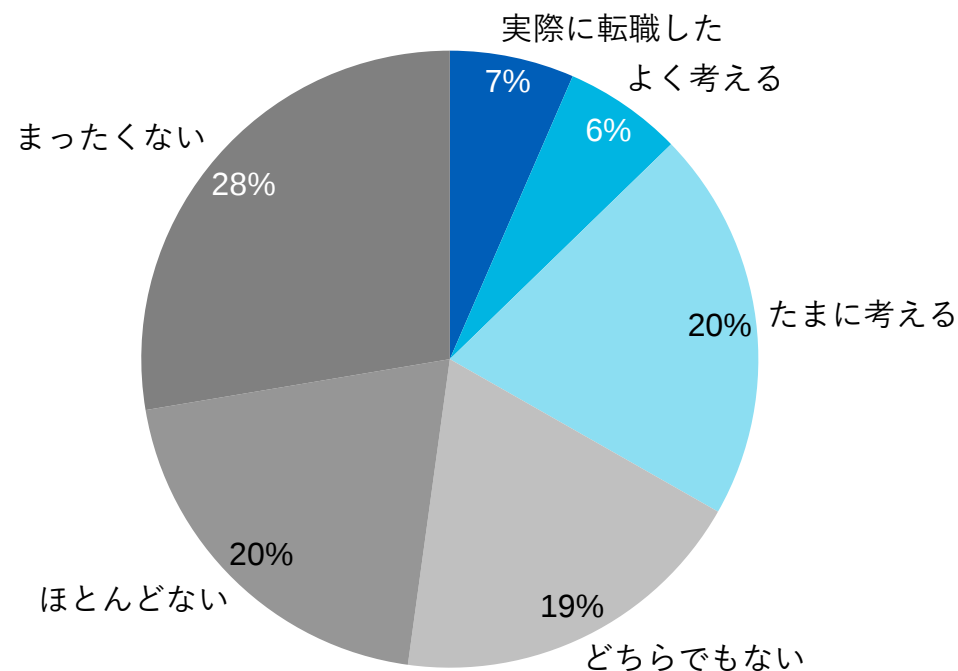
塗装はがしや錆取りをするとき、どんなことを不満に感じますか？
(MA)

(n=322)



塗装はがしや錆取り作業への不満や不安から、転職を考えたことはありますか？
(SA)

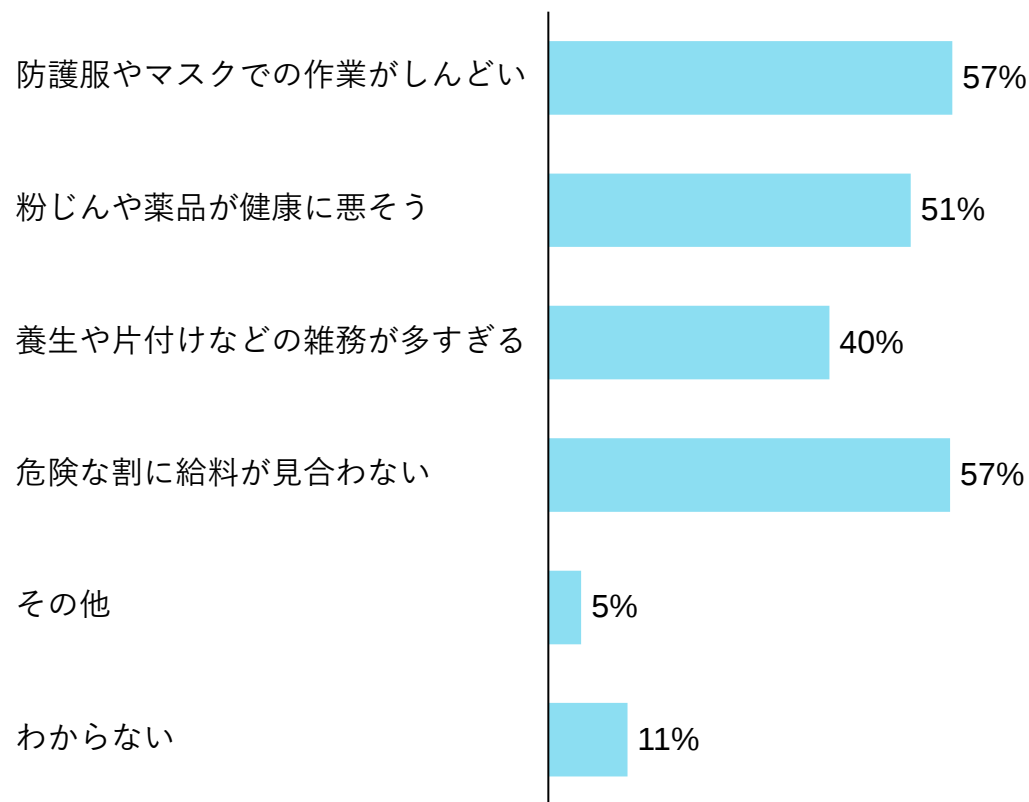
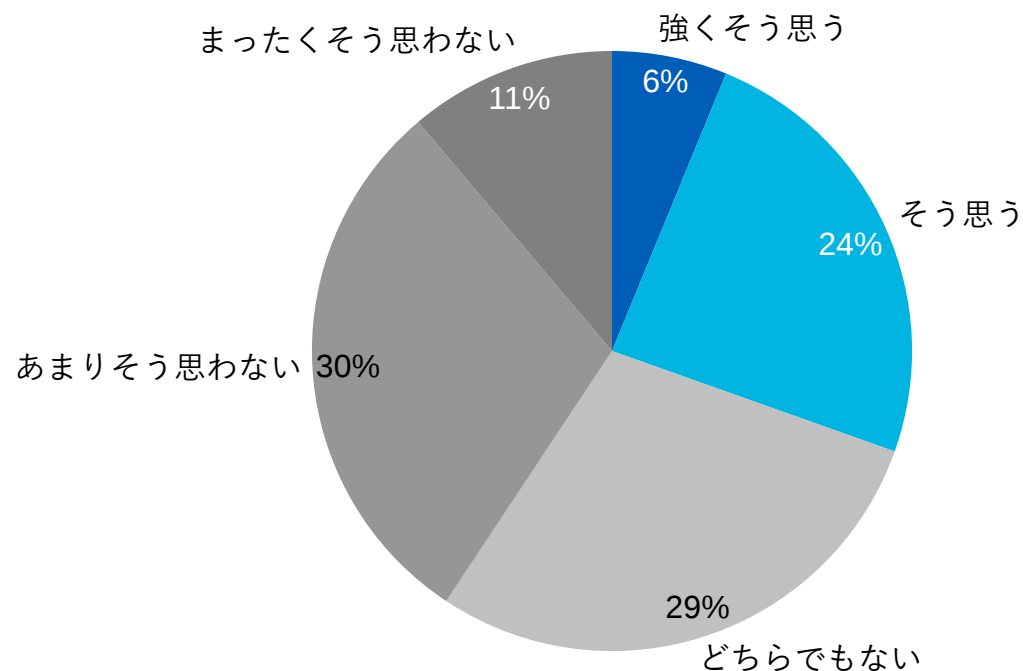
(n=322)



ケレン作業が業界からの人材離れや定着率低下の深刻な原因の一つになっていると3割の回答者が認識している。具体的な理由としては、作業の危険性に対する給与の低さや防護服などの不便に加えて、粉じんや薬品への健康不安が上位を占める。

塗装はがしや錆取り作業は、塗装業界から人が離れていってしまう（定着しない）原因のひとつになっていると思いますか？（SA）
(n=322)

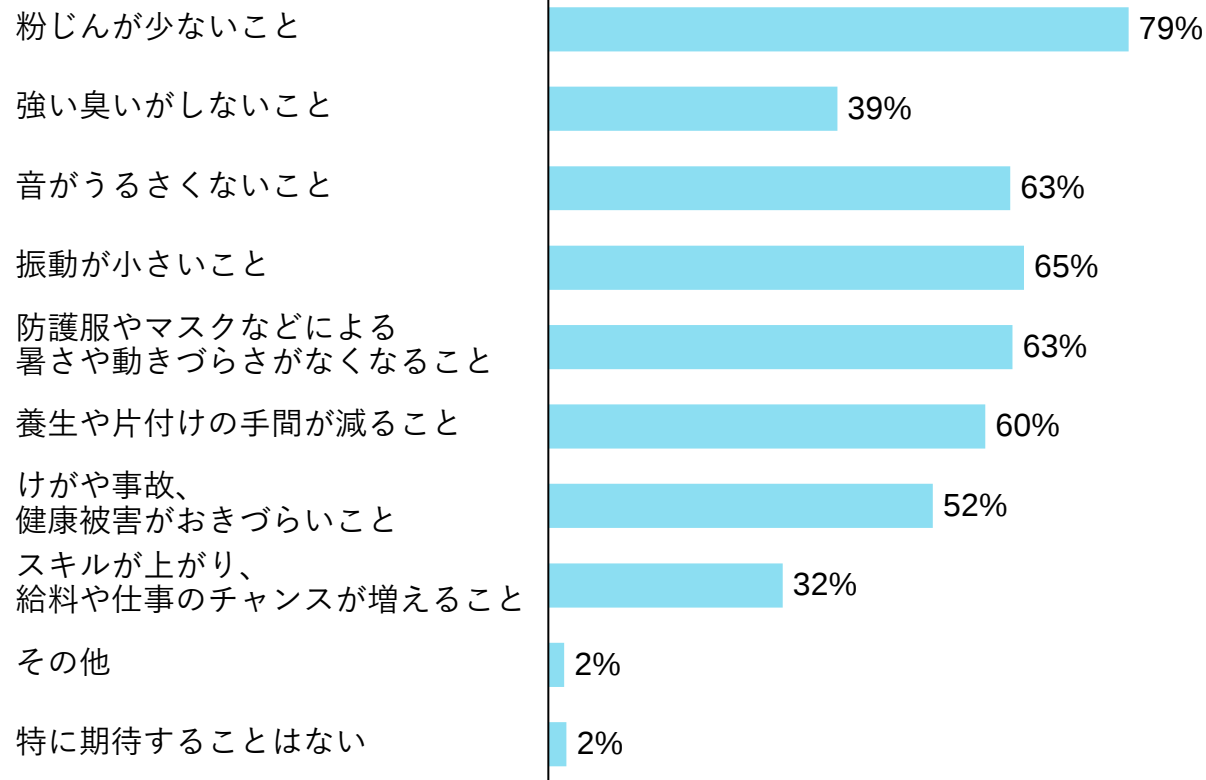
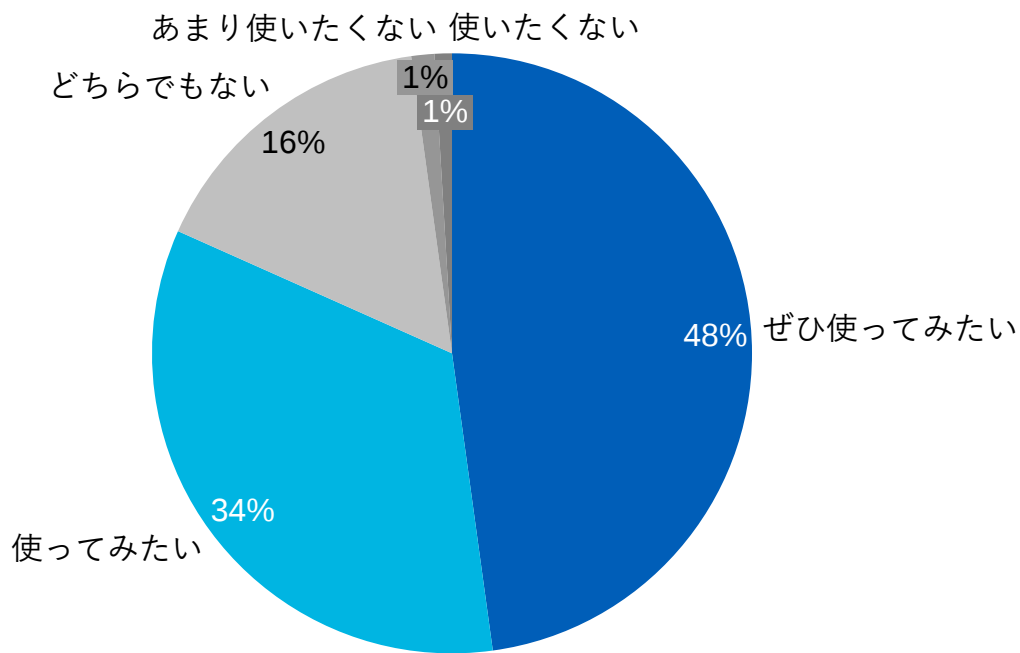
具体的に塗装はがしや錆取り作業から人が離れていってしまう一番の理由は何だと思いますか？（MA）
(n=322)



8割以上が現状の作業環境における不満を改善できる新しい工法や技術があれば実際の現場で使ってみたいと前向きな姿勢を示しており、粉じんの発生量の少なさ、振動や騒音の低減および重装備による暑さや作業のしづらさの改善を期待している。

もし塗装はがしや錆取り作業の現場の不満を改善する新しい方法があったら、現場で使ってみたいですか？（SA）
(n=322)

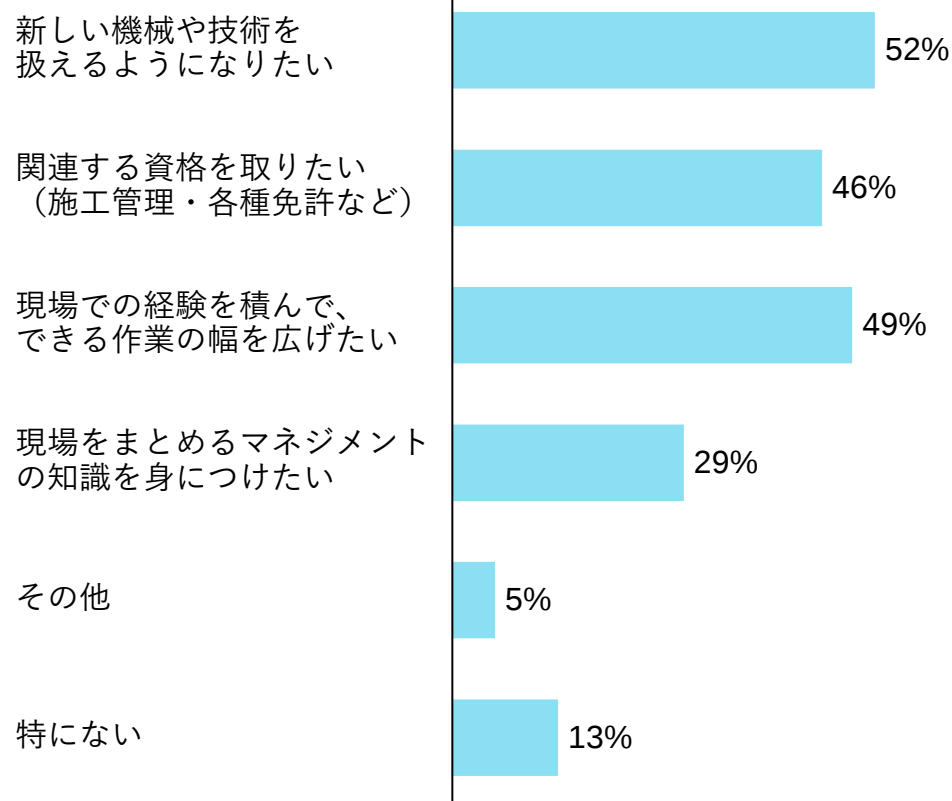
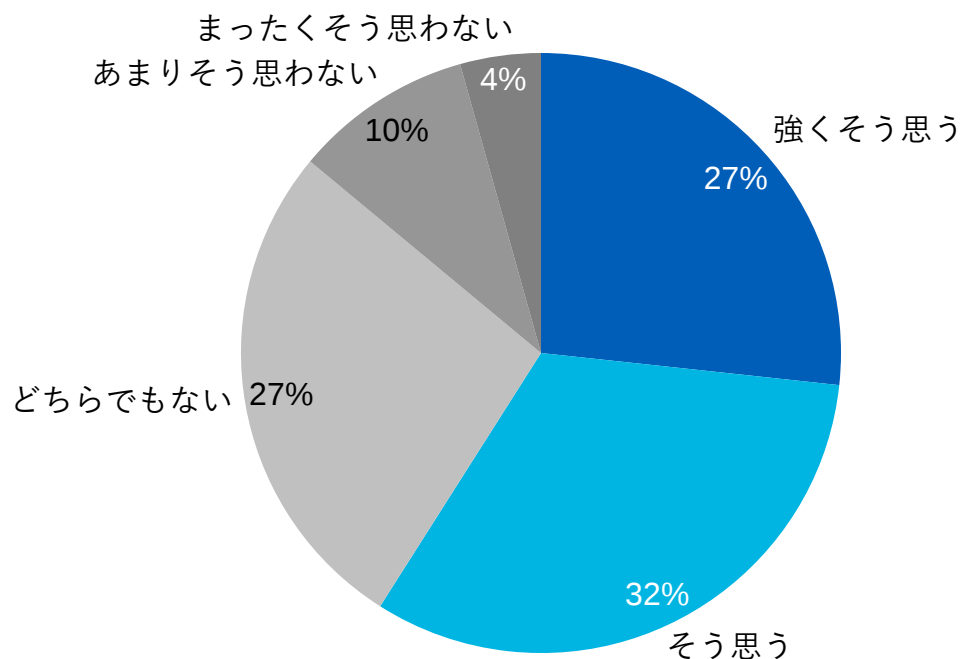
塗装はがしや錆取り作業の新技術に、どのような効果を期待しますか？
(MA)
(n=322)



現場改善のために新たな機械や技術を取り入れる職場で働いてみたいと回答した労働者が6割を占める。半数以上が自身の収入増に向けて新技術を扱えるようになりたいと回答。安全で快適な職場環境の整備と新技術の導入が人材確保策として重要。

現場をもっと働きやすくするために新しい機械や技術を積極的に取り入れている職場があれば、そういった職場で働きたいと思いませんか？（SA）
(n=322)

ご自身の収入を上げるために、今後取り組んでみたいことはありますか？
(MA)
(n=322)



All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

ご清聴ありがとうございました

Thank You

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。

